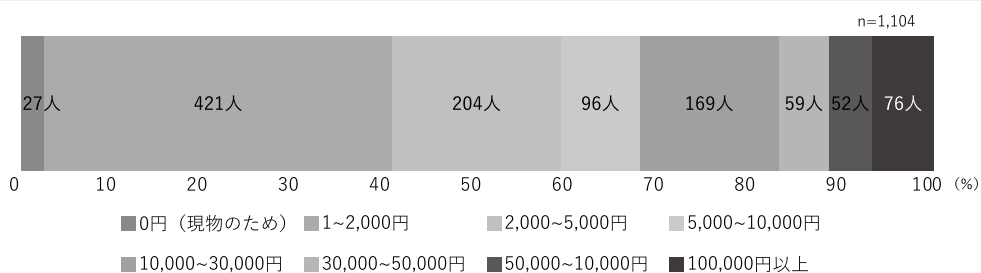


年間寄附金額（個人）



寄付をしたことはあるだろうか。内閣府による調査では、2018年の1年間に「寄付をしたことがある」と回答した人は41.3%で、年間寄付総額は1円以上5,000円未満が約6割であった。日本は寄付文化が乏しい国とされる。寄付は法人寄付と個人寄付に大別でき、寄付大国の米国や英国では個人寄付が8割を占める。一方、日本の寄付は8割が法人によるものである。NPO法人日本ファンドレイジング協会の2017年調べでは、日本の名目GDPに占める個人寄付の割合は0.14%で、米国（1.44%）の1/10でしかない。金額ではおよそ40倍（日本：7,756億円、米国：30兆6,664億円）の差がついている。しかし、実はこの10年で日本の個人寄付総額は大幅に増加している。特に2011年の東日本大震災を契機に寄付による支援に注目が集まり、その後も継続して増加傾向にある。税金の控除や送金システムの整備、クラウドファンディングの登場等、寄付行動を後押しする仕組みも整ってきた。2019年からのコロナ禍で、初めて寄付をした人も多いだろう。NPO法人の活動支援、SDGsへの貢献等、寄付が果たす役割は大きい。

内閣府「令和元年度 市民の社会貢献に関する実態調査報告書」より作成